

平成22年7月12日

## 茨城県内企業の景況天気図は引続き「曇り」となりました 自社業況判断DIは「△24.5」前回調査より7.6ポイント改善 景況天気図指数・自社業況判断DI値とも4期連続の改善

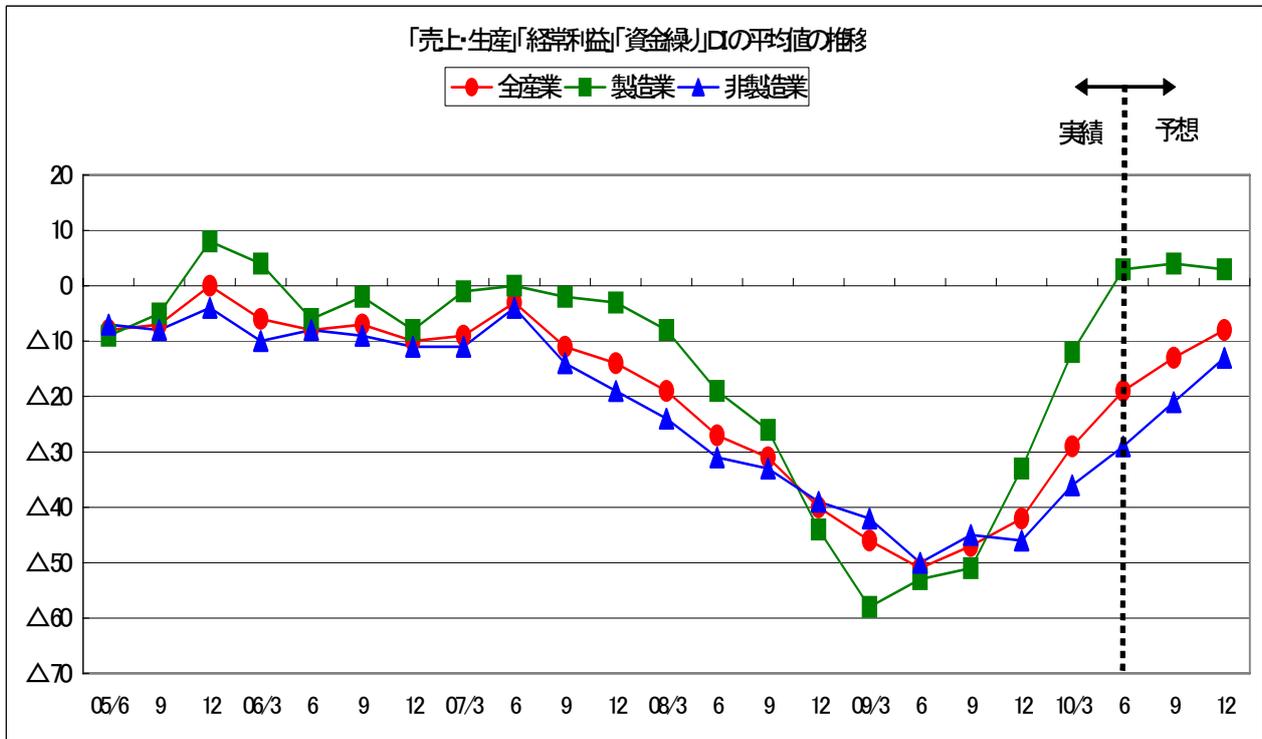
筑波銀行（頭取：木村 興三、本店：土浦市）は「茨城県内企業経営動向調査（2010年6月）」を実施し、取りまとめたので結果を公表します。

### 1. 茨城県内企業の景況天気図

全産業の景況天気図は「曇り」、天気図指数は△19、前回調査比10ポイントの改善となりました。なお、指数改善は4期連続となりました。製造業は15ポイント改善し「曇り」から「薄曇り」となり、非製造業は7ポイント改善し引続き「曇り」となりました。

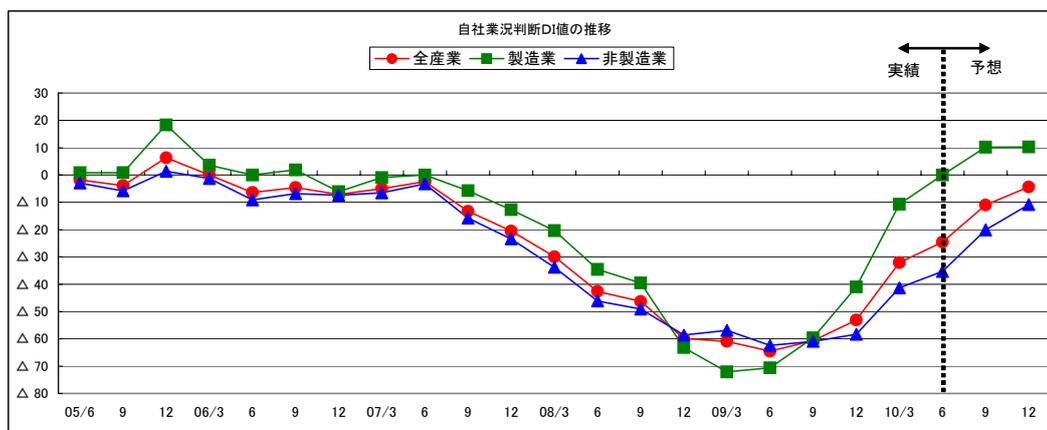
	前回調査実績	2010/1~3	今回調査実績	2010/4~6	前回調査との比較
全産業	△29		△19		10
製造業	△12		3		15
非製造業	△36		△29		7

（注）景況天気図指数は「売上生産DI値」、「経常利益DI値」、「資金繰りDI値」の平均値



## 2. 自社業況判断DI（全産業）は△24.5となり7.6ポイント「悪化」超幅が縮小しました

自社業況判断DIは、全産業で△24.5となり前回調査実績に比べ7.6ポイント、製造業は「好転」の割合と「悪化」の割合が同じとなり同10.7ポイント、非製造業は△35.3となり同6ポイント「悪化」超幅が縮小しました。



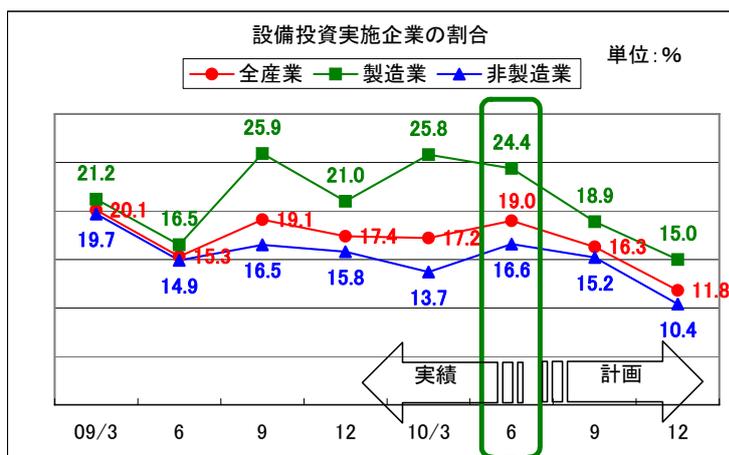
## 3. 各調査項目内容の概要

	前々回調査実績 2009/10~12	前回調査実績 2010/1~3	今回調査実績 2010/4~6	見通し 2010/~9	見通し 2010/10~12
1 自社業況判断	△ 53.1	△ 32.1	<b>△ 24.5</b>	△ 11.0	△ 4.4
2 売上・生産	△ 51.8	△ 32.6	<b>△ 20.3</b>	△ 10.9	△ 2.6
受注	△ 43.6	△ 13.6	<b>△ 10.0</b>	△ 8.3	△ 2.6
3 販売価格	△ 40.4	△ 37.8	<b>△ 21.9</b>	△ 12.5	△ 6.6
仕入価格	△ 10.5	△ 4.4	<b>15.7</b>	△ 13.9	△ 11.8
4 受取(回収)条件	△ 8.5	△ 6.5	<b>△ 6.8</b>	△ 8.1	△ 6.4
支払条件	△ 0.8	0.7	<b>0.0</b>	1.3	1.3
5 資金繰り	△ 27.0	△ 19.9	<b>△ 15.0</b>	△ 13.8	△ 11.2
長期借入難易	△ 15.4	△ 11.7	<b>△ 11.8</b>	△ 9.1	△ 8.1
短期借入難易	△ 17.0	△ 11.6	<b>△ 11.1</b>	△ 8.4	△ 7.3
6 在庫	△ 24.2	△ 14.2	<b>△ 11.9</b>	△ 5.0	△ 1.0
7 経常利益	△ 46.9	△ 34.5	<b>△ 22.2</b>	△ 14.0	△ 9.5
8 雇用	12.3	9.6	<b>10.7</b>	7.2	2.0
※前年同期比較によるDI					
9 設備投資	17.4%	17.2%	<b>19.0%</b>	16.3%	11.8%
10 経営上の問題点	2010/4~6調査の第1位は:売上・生産の停滞・減少				

- 自社業況判断DIは△24.5と前回調査実績に比べ7.6ポイント「悪化」超幅が縮小
- 売上・生産DIは△20.3と前回調査実績に比べ12.3ポイント「減少」超幅が縮小
- 受注DIは△10.0と前回調査実績に比べ3.6ポイント「減少」超幅が縮小
- 販売価格DIは△21.9と前回調査実績に比べ15.9ポイント「低下」超幅が拡大
- 仕入価格DIは15.7と20.1ポイント「低下」超幅が縮小し「上昇」超に転じた。
- 受取(回収)条件DIは△6.8と前回調査実績に比べ0.3ポイント「悪化」超幅が拡大
- 支払条件DIは0.0と「好転」と「悪化」が同じ割合となり前回調査に比べ0.7ポイント「悪化」超幅が拡大
- 資金繰りDIは△15.0と前回調査実績に比べ4.9ポイント「悪化」超幅が縮小。
- 長期借入難易DIは△11.8となり、前回調査実績とほぼ横ばい
- 短期借入難易DIは△11.1と同0.5ポイント「困難」超幅が縮小
- 在庫DIは△11.9と前回調査実績に比べ2.3ポイント「過剰」超幅が縮小
- 経常利益DIは△22.2と前回調査実績に比べ12.3ポイント「減少」超幅が縮小
- 雇用DIは10.7と前回調査実績に比べ1.1ポイント「過剰」超幅が縮小
- 設備投資を実施した企業の割合は19.0%と前回調査実績に比べ1.8ポイント増加
- 経営上の問題点は、第1位「売上・生産の停滞・減少」、第2位「原材料・仕入高」、第3位「製品・商品安」

#### 4. 設備投資の状況

設備投資を実施した企業の割合は19.0%で前回調査実績より1.8ポイント増加しました。



①設備投資実施した企業の割合は19.0%

設備投資を実施した企業の割合は、全産業は19.0%と前回調査実績比1.8ポイント増加。製造業は24.4%で同1.4ポイント減少し、非製造業は16.6%で同2.9ポイント増加した。

② 今後、設備投資実施企業割合は減少見通し

全産業、製造業、非製造業とも、設備投資計画は減少する見込みであり、更に期が進むにつれ更に減少する見通しである。

#### 5. 調査の概要

■ DI値の算出方法

前年同期に比較して「好転」・「増加」・「上昇」した（もしくはする見通し）と回答した企業の割合から、「悪化」・「減少」・「低下」した（もしくはする見通し）と回答した企業の割合を差し引いて算出する。

■ 調査実施時点：2010年6月

■ 調査対象期間：2010年4～6月実績、2010年7～9月・2010年10～12月見通し

■ 調査の方法：郵送による記名式アンケート

■ 調査対象：弊行取引先茨城県内企業936社

■ 回答企業数：416社

本件に関するお問合せ先

筑波銀行 総合企画部 鈴木 Tel029-859-8111 (内線 3730)